

みずほCustomer Desk Report 2016/05/27号(As of 2016/05/26)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	109.45 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.11	1.1155	122.85	0.9914	1.4695	0.7185
SYD-NY High	110.23	1.1216	123.07	0.9927	1.4738	0.7244
SYD-NY Low	109.42	1.1150	122.25	0.9873	1.4640	0.7162
NY 5:00 PM	109.76	1.1194	122.86	0.9895	1.4666	0.7226
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.725/11.225	△25RR	0.710	Yen Call Over		

NY DOW	17,828.29	▲ 23.22	債券市場	日本2年債	-0.2250	0.1bp
NASDAQ	4,901.77	6.88		日本10年債	-0.1200	▲3.7bp
S&P	2,090.10	▲ 0.44		米国2年債	0.8671	▲5.1bp
日経平均	16,772.46	15.11		米国5年債	1.3474	▲5.4bp
TOPIX	1,342.87	▲ 0.01		米国10年債	1.8282	▲3.8bp
シカゴ日経先物	16,890	▲50.00	為替市況	独10年債	0.1460	▲0.6bp
ロンドンFT	6,265.65	2.80		英10年債	1.4150	▲4.1bp
DAX	10,272.71	67.50		豪10年債	2.2770	▲3.2bp
ハンセン指数	20,397.11	29.06	商品市況	USD/CNH	6.5585	▲ 0.0069
上海総合	2,822.44	7.36		ドルインデックス	95.17	▲0.19
USDJPY 3M Vol	10.21	▲0.17%		CRB指数	185.586	0.29
USDJPY 6M Vol	10.38	▲0.05%		NY金	1,222.700	▲3.90
EURJPY 3M Vol	10.26	▲0.33%		WTI	49.480	▲0.08
EURJPY 6M Vol	10.50	▲0.18%		Dubai Spot	46.44	0.71

東京	東京時間のドル円は110.11レベルでオープン。日経平均株価が170円程度上昇して寄り付くも、その後上値重く上昇幅を縮小する動きや、投機筋のストップオーダーを巻き込んだことを受けて、ドル円は109.55近辺まで急落。その後一旦持ち直す局面が見られたものの、仲値にかけて荒い値動きとなると、一時この日の安値となる109.42まで値を下げた。しかし、この日開幕した伊勢志摩サミットへの警戒感もあり、積極的に売り込んでいく地合とはならず、109.70近辺まで反発。その後は様子見ムードが広がり、同水準で揉み合い推移が続いた後、109.75レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は東京時間の下落分を徐々に取り戻す展開となった。朝方は109.75レベルでオープン。ロンドン朝8時のフィクシング付近でボンドが全般的に買われる流れにボンド円が上昇し、ドル円もつれ高となると、109円台半ばから後半まで上昇。欧州株が底堅く推移したことでクロス円も堅調となり、ドル円は110円台前半まで一段と上昇し、110.08レベルでNYへ渡った。ユーロドルは1.1178レベルで朝方オープン後は、1.11台後半で方向感に欠ける展開となり、1.1172レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルフィー 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	NY時間のドル円は110.08レベルでオープン。朝方は、米新規失業保険申請件数が予想比良好な数字となり、同時に発表された米4月耐久財受注も民間航空機が前回から大幅に上昇したことで予想を大きく上回ったことを受けて110.22まで上昇する。その後は連休を控え、買い戻されていたドルがポジション調整から売り戻される展開に109.62まで反落する。続いて発表された米4月中古住宅販売契約が、先日の新築住宅販売件数同様に予想を上回ったことからやや買い戻される局面があったものの、再びドル売り優勢の展開に109.53まで下落する。午後はパウエルFRB理事(投票権有/中立派)が「データとリスクの変化次第であるが、2回目の利上げが極めて近い」と発言したことが伝わるも、翌日のイエレン議長講演や、来週月曜日の米メモリアルデーを前に同日は債券市場が短縮取引になることもあり、狭いレンジでの推移が続く109.76レベルでクローズした。一方、ポジション調整のドル売りにユーロドルはじりじりと下値を切り上げ、1.1172レベルでNYオープン。朝方は米耐久財受注の結果等を受け1.1159まで下押しするが、その後は再びドル売りが優勢となったことから1.1216まで反発。しかし株式市場が軟化しユーロ円の売りが強まると、ユーロドルも1.1169まで下落する。午後は閑散な取引が続く、1.1194レベルでクローズした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 岩田・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月26日	8:50	日 対外・対内証券投資	-	-
	17:30	英 GDP・改定値(前期比/前年比)	1Q 0.4%/2.0%	0.4%/2.1%
	19:10	米 ブラード・セントルイス連銀総裁講演	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	268K 275K
	21:30	米 耐久財受注/除く輸送用機器(前月比)	4月 3.4%/0.4%	0.5%/0.3%
	23:00	米 中古住宅販売契約(前月比)	4月 5.1%	0.7%
5月27日	1:00	米 パウエルFRB理事講演	-	-

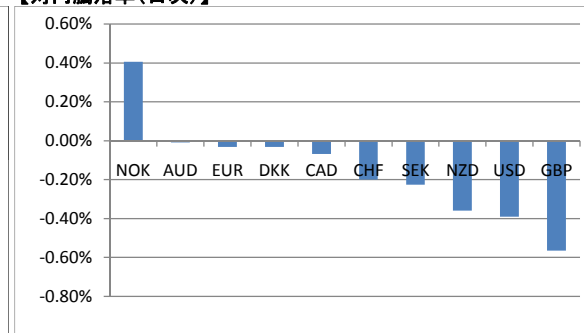
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月27日	8:05	英 GfK消費者信頼感	5月 -4	-3
	8:30	日 全国CPI/コア/コアコア(前年比)	4月 -0.4%/-0.4%/0.7%	-0.1%/-0.3%/0.7%
	21:30	米 GDP・2次速報値(年率/前期比)	1Q 0.9%	0.5%
	21:30	米 個人消費・2次速報値	1Q 2.1%	1.9%
	21:30	米 コアPCE・2次速報値(前期比)	1Q 2.1%	2.1%
	23:00	米 ミシガン大学消費者信頼感指数・確報値	5月 95.4	95.8
5月28日	2:15	米 イエレンFRB議長講演	-	-
	-	伊勢志摩サミット(5/26-27)	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.40-110.70	1.1100-1.1250	122.00-123.50

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は、米4月耐久財受注の強い結果等を受けて海外時間高値となる110.22まで上昇するが、設備投資の先行指標とされるコア資本財の数値が市場予想を下回ったことや、本日のイエレンFRB議長講演や米1-3月期GDP(2次速報値)発表等を控えたポジション調整もあったのだろう、ドル円は一時109円台半ばまで下落し、同後半でクローズした。本日は特にイエレンFRB議長の講演に注目。最近FED高官からは利上げに対してタカ派的な発言が相次いでおり、従来ハト派的な発言をしていた同議長のスタンスが重要となる。タカ派的な内容となればドル買い優勢となるだろう。